

# 琉球弧自然フォーラム

## 2008 in 西表島

～地域が考える、  
地域の未来～

### ◎日程・開催場所

日 程：平成 20 年 1 月 26 日（土曜日） 13:00 ～ 16:00

場 所：竹富町西表島 竹富町離島振興総合センター

（沖縄県八重山郡竹富町南風見 201-47 電話：0980-85-5216）

### ◎申込み方法

事前の申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。参加費無料。

### ◎講演会

○「八重山美しや（やいまかいしや）」

千石 正一／（財）自然環境研究センター

○「地域の取り組みから始まった知床世界遺産登録」

村田 良介／斜里町環境保全課長

### ◎パネルディスカッション

●三木 健 / ジャーナリスト

●村田 良介 / 斜里町環境保全課長

●上勢頭 保 / 竹富町世界自然遺産登録推進協議会会長

●山川 安雄 / NPO 法人国頭ツーリズム協会代表理事

●高 美喜男 / NPO 法人奄美野鳥の会会長

●中島 慶二 / 環境省那覇自然環境事務所所長

### ◎問い合わせ

竹富町役場自然環境課

電話：0980-82-6191

ファックス：0980-82-6199

ホームページ：<http://taketomi-islands.jp>

（財）自然環境研究センター 担当 宮川

電話：03-5824-0969

ファックス：03-5824-0970

ホームページ：<http://www.jwrc.or.jp/>

### ◎主催

環境省、沖縄県、鹿児島県、竹富町





九州の南端と台湾の間に位置する弓状の島々の連なりは「琉球弧」と呼ばれています。この琉球弧の島々は、本州や大陸とつながったり離れたりを繰り返したことにより、各島で独自の生物の進化が見られ、世界でここだけにしかない生物が多くみられるのが特徴です。このため、平成15年に環境省と林野庁とが設置した「世界自然遺産候補地に関する検討会」においては、トカラ列島以南の奄美群島、沖縄諸島及び先島諸島などの島々を包含した地域が世界自然遺産の候補地に選定されています。

本フォーラムでは、琉球弧の有する特異な自然環境を改めて見直すとともに、知床世界自然遺産での地域の取組を知ることなどをつうじて、琉球弧の自然環境の保全と活用による地域づくりについて考えます。



**千石 正一**

(財) 自然環境研究センター研究主幹。動物の世界を研究・紹介することに尽力し、自然環境保全の大切さを訴える。図鑑、学術論文などの幅広い執筆活動のかたわらテレビなどにも出演し活躍中。著書に「いのちはみんなつながっているー西表生態学」(朝日新聞社)「こっちみんなよ!」(集英社)「最後のゾウガメを探しに」(丸善)、「世界のネコの世界」(海竜社) など



**村田 良介**

石川県小松市出身。斜里町環境保全課長。斜里町教育委員会で社会教育主事、知床博物館で学芸員(専門は考古学・地理学)として地域住民を基調とする社会教育活動を行う。その後、斜里町公民館「ゆめホール知床」の建設準備及びオープン後の施設運営を担当。2002年から、斜里町の自然保護行政及びしれとこ100平方メートル運動等の環境保全部門を担当し、環境省をはじめとする行政機関と地元とのパイプ役として世界遺産登録に携った。



**◎プログラム**

13:00

**1) フォーラム開催のご挨拶**

○大盛 武 / 竹富町長

13:05

**2) 基調講演**

○「八重山美しや (やいまかいしゃ)」

千石 正一 / (財) 自然環境研究センター

○「地域の取り組みから始まった  
知床世界遺産登録」

村田 良介 / 斜里町環境保全課長

14:30

**3) パネルディスカッション**

○テーマ

「地域が考える、地域の未来  
～自然や文化を引き継いでいくために～」

○コーディネーター

三木 健 / ジャーナリスト

○コメントーター

村田 良介 / 斜里町環境保全課長

○パネリスト

上勢頭 保 / 竹富町世界自然遺産登録推進協議会会長

山川 安雄 / NPO 法人国頭ツーリズム協会代表理事

高 美喜男 / NPO 法人奄美野鳥の会会長

中島 慶二 / 環境省 那覇自然環境事務所所長

**客席からの質疑応答**

16:00

閉会

大勢の皆様のご来場をお待ちしております。